

『ケイタとピースケの大冒険』

『幼稚園・小学校低学年向け』（20分）

幼稚園児、小学校低学年の児童が理解しやすいように、アニメーションの手法を使い、農業水利施設の役割と危険性、ゴミ問題、それらを管理している”水土里ネット”（土地改良区）の人たちや地域住民の活動、そして、農業用水を利用してつくられた、ふれあえる安全な水辺のビオトープや親水公園などの多面的な機能の重要性を描いています。

『あらすじ』

都市化の進む農村に暮らす小学校2年生の「ケイタ」と幼稚園児の妹「アヤ」…。ケイタは水泳が苦手、アヤは水泳が大好きな女の子です。

ある日、ケイタの小学校でアイガモの卵がかえり、ケイタは、その子ガモに「ピースケ」と名前をつけました。水泳が苦手なケイタが、飼育小屋の池で上手に泳ぐピースケをうらやましく思っていると…。なんとケイタがアイガモに変身します！



子どもたちと子ガモの視点を通して様々な発見が

Point



アニメーションキャラクターの「アクア」が登場し、用水路の危険性や水土里ネットの活動をわかりやすく説明します。

わあ！



1 ケイタとピースケ。そしてケイタと一緒に変身してしまった妹のアヤ。3羽の子ガモは、小学校の前を流れる水路から「冒険の旅」に出発します。

3羽の子ガモがめぐる田んぼと用水路の大冒険



2 水路をたどる「冒険」の中で、彼らは、田んぼで働くアイガモ農法のカモたちや物知りな長老ガモに出会い、また、人間が捨てたゴミに巻き込まれる危機など、様々な出来事と遭遇していきます。



3 いろいろな「冒険」を通して、農業水利施設の役割や危険性、その安全を守る人たちの活動を知った3羽の子ガモは、やがて水路の水を利用したビオトープや親水公園にたどり着きます。



4 一方、ケイタの行方を捜す担任の「ようこ先生」と同級生の「マリ」「トオル」の3人は、ビオトープから、次の「冒険」に向かう3羽の子ガモを発見します

そして、3羽の子ガモを襲う最大の危機！！



5 その結末とは…。飼育小屋で、目覚めるケイタ…。『ケイタとピースケの大冒険』は夢だったのでしょか？そして、『冒険』のあとに、水泳が苦手なケイタに起きた変化とは…？